

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	<p>●研究の名称 腫瘍免疫からみたトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法の効果予測 (HER2 陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン 併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第Ⅲ相臨床研究 JBCRG-MO6 (EMERALD) における副次的解析)</p>
	<p>●研究の対象 HER2 陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン 併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第Ⅲ相臨床研究 JBCRG-MO6 (EMERALD) に参加した方</p>
	<p>●研究の目的 HER2 陽性転移再発乳がんの治療としてトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較する研究を行いました。がんに対する免疫反応が起こっていることが、治療の効果にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを目的とします。</p>
	<p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2026 年 3 月まで</p>
	<p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
《利用し、又	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>は提供する試料・情報の項目》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術または生検で採取した組織</li> <li>・HER2 陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン 併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第Ⅲ相臨床研究 JBCRG-MO6 (EMERALD) で集めた情報（症例番号、生年月、登録日、既往症の有無、既往症名、合併症の有無など）</li> </ul>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名                  浜松医科大学 外科学第一講座 小泉 圭</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>外国へは提供しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 外科学第一講座 小泉 圭</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>個人を識別できない状態に加工された試料・情報を利用した研究ですので、個人を特定することができず使用の停止ができません。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《問い合わせ  
先》

〒431-3192

浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号

浜松医科大学

部署名： 外科学第一講座

担当者： 小泉 圭

TEL： 053-435-2276

E-mail： [koizumi@hama-med.ac.jp](mailto:koizumi@hama-med.ac.jp)